



琵琶の倫風

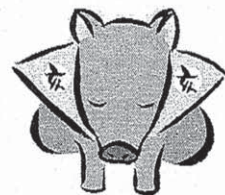
発行・編集／滋賀県倫理法人会 広報委員会

第1号

本誌掲載記事の無断転載を禁じます。

「広報誌創刊にあたって」

滋賀県倫理法人会・広報委員長 濱名 和彦



滋賀県に倫理法人会が設立されてから12年目になるようですが、当初は各地域に単会がなく“滋賀県倫理法人会”のみでした。

数年後、“彦根湖東”倫理法人会(昨年、“彦根市”倫理法人会に改称)が出来る際に“滋賀県大津”倫理法人会との2つの単会体制となり、滋賀県倫理法人会がその上部組織となり、本来の形となりました。

その後、大津から“びわこ湖南”が分封(開設)、昨年彦根から“びわこ湖東”が分封(開設)され、現在の県下4単会体制となりました。今年は、長浜を中心とした湖北地域に5番目の単会が開設予定です。

このように滋賀県倫理法人会もようやく組織らしくなり、更なる成長段階に入ってきた段階と言えます。そうすると、「モーニングセミナー」や「経営者の集い」といった各単会の行事はあるものの、本部から配布される「職場の教養」や「今週の倫理」、「倫理ネットワーク」などでは、地元滋賀県及び単会での具体的な活動内容がよくわからない、という声が出て来ました。

また会員以外の企業や行政等に対し、どのような会か?をお伝えする際にも上記のものでは具体性に欠けます。

このような流れの中で、滋賀県としての倫理法人会の活動や各単会のトピックス、研修会、会員企業紹介、倫理経営の実践報告等を、目に見える形にする必要性が出てまいりました。

そこで今回2007年の年初にあたり、広報誌を創刊するに至りました。まずは各会長さんに新年の抱負を語っていただきました。今後は当面、季刊誌として年4回の発行を目指し、徐々に内容を充実させていく所存です。

創刊にあたり、お忙しい中多くの方々のご協力をいただきました。この場をお借りしてお礼もうしあげます。本当にありがとうございました。また今後も皆様のお力をお借りしたく、どうぞよろしくお願い致します。

ご挨拶



滋賀県倫理法人会 会長 河村 益孝

あけましておめでとう御座います。

会員企業各位および各ご家庭では、輝かしい、希望に満ち満ちた新年をお迎えになられたことと、心からお慶び申し上げます。

滋賀県倫理法人会も本年9月をもって満12年目を迎えるに至りました。

残念ながら、昨今の目にあまる世情・事件を見るにつけ、繁栄を誇るわが国の将来が極めて危ぶまれ、一刻も早く、1社でも多くの倫理普及の必要性を痛感いたしております。

昭和20年9月、敗戦後の混乱の危機に直面された丸山敏雄先生が、祖国の復興、万人の幸福を求めて樹立された倫理運動をはじめられてから、早62年目を迎えます。当県でも昨年、大津・彦根・草津に次いで県下4番目となる法人会を八日市に開設いたしました。本年は更に長浜にも開設の予定です。会員数も270社から一挙に480社以上への拡大を目指しています。倫理経営をめざす会員企業の拡大発展が社会をよくする運動そのものであります。

会員の皆様の絶大なるご支援、ご協力をお願いするとともに、本年も益々のご発展を祈念申し上げます。



滋賀県大津倫理法人会 会長 西村 博

平成19年の輝かしい新年をご家族の皆様とお迎えの事と思います。皆様、明けましておめでとうございます。旧年中は、大津倫理法人会の活動にご理解とご協力賜りまして、誠にありがとうございました。心から御礼申し上げます。

さて 最近の経済ニュースなどを見ていると、戦後最長の好景気が続いているように言われています。しかしながらこの好景気は、一部大企業の事の様で、われわれ中小企業では実感なく厳しい経済情勢に感じます。また国内のニュースを見ていると、不祥事や事件が連日報道されています。これらを解決するには、経営者が倫理を学び倫理経営をすることです。そして社内に倫理観を広める事です。

当倫理法人会は、当地比叡山の教え「一隅を照らす人、これ国の宝なり。」倫理を普及させ大津から日本を善くする決意で、本年も最大の努力をします。大津、湖西地域が倫理で元気な企業、明るい美しい地域になるように頑張りましょう。





彦根市倫理法人会 会長 辻 博文

新年あけましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

昨年中は会員企業拡大、特にびわこ湖東準倫理法人会開設に際し、絶大なるご協力を賜りまして誠にありがとうございました。心より感謝・御礼申し上げます。

今年は、彦根市倫理法人会にとりまして来たる7月21日(土)の経営者モーニングセミナーが第400回目に当たり、彦根城築城400年祭とも重なり非常にめでたい年であります。また6月1日には会員企業100社復帰達成の年でもあります。1社からのご紹介、ご推薦、経営者モーニングセミナーへの参加呼掛けを伏してお願い申し上げます。

万人幸福の葉第11条「万物生々」にも書かれております、二宮尊徳先生が弟子に示されたたらいの例話、即ち、欲心を起こして水を自分の方に掻き寄せると向こうに逃げる、人の為にと向うに押しやればわが方に返る、金銭も物質も人の幸福もまた同じ事である、と示されているのと同様に、先般、津々木昭子参事様から、命の元である親・先祖に繋がり倫理の実践によって得た喜びを1社でも多くの経営者の方々に知らせすることが、小さい己が消え失せて天地と共に生きる不死永遠の絶対境であります、とお話頂きました。

私も微力ではありますが会員普及拡大に邁進させていただき覚悟でございます。どうか重ね重ねのお願いになりますが、会員企業の皆様に倫理法人会会員普及拡大にご協力・ご鞭撻賜りますようお願い申し上げます。念頭の挨拶にさせていただきます。



びわこ湖南倫理法人会 会長 中村 治雄

あけまして おめでとうございます。

皆様には、つつがなく新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

日頃は倫理会活動にご理解とご尽力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、昨年3月28日には皆様のご協力のもと、丸山敏秋理事長をお迎えして、倫理経営講演会を盛会に開催させていただきました。

今年度は、5万社達成に向け取り組みが始まっておりますが当会におきましても130社を目標に取り組んで参ります。

今日の経営環境は中小企業においては、いまだ厳しいものがありますが、今一度原点に立ち返り倫理経営の実践に励むとともに、多くの方々に伝えて参りたいと願っております。

会員各位の尚一層のご尽力、ご協力を切にお願い申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。



びわこ湖東準倫理法人会 会長 鈴木 義勝

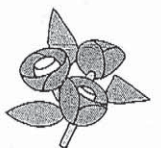
新年明けましておめでとう御座います

昨年倫理法人会をご紹介頂き、選歴を迎えた私自身の自己研鑽の思いで入会いたしましたところいきなり会長を任命頂き戸惑いを隠せない新米会長です。

倫理では指名されたら、まず【ハイ喜んで】と受ける事ですよと言われ本当に青天の霹靂の想いです。まず受けたからには微力ながら頑張ってみますのでご指導の程お願い致します。昨年8月30日びわこ湖東準倫理法人会として開設、今年の第一目標は6月30日には100社以上に普及拡大して正法人会にすることです。

家庭や会社、地域社会での倫理の勉強共育など普及活動で少しでも皆さんが幸福に成るお手伝いが出来そうです頑張ってみます。万人幸福の葉の実践(どれだけ本気になれるか)が私の課題として掲げいつも頭に入れておきます。河村会長はじめ日下幹事長や多くの倫理での出会いご縁を頂き感謝に耐えませんが、有難う御座います。

今年はより一層元気に明るく頑張ってみますので、宜しくご指導ご鞭撻の程お願い申し上げます。



トイレ掃除に学ぶ

11月12日(日) 長山運動公園 AM7:00~9:00 大塚幸男

びわこ湖東準倫理法人会 鈴木義勝会長の下16名が小雨の中長山運動公園の公衆トイレの清掃を行いました。滋賀ダイハツからご指導戴いた方に心からお礼を申し上げます。

早朝よりありがとうございました。又、皆さんが一生懸命トイレを掃除されている姿に感動を覚えました。トイレ清掃については私どもの会社では数百棟のレンタルトイレを扱っていることもあり抵抗は全く無かったのですが、仕事として義務的に取り組んでおりましたが今回のトイレ清掃活動で節水にも心がけ掃除用品の扱い方、作業の手順等、心を込めてトイレを清掃したのは初めての経験でした。人に感動を与えること一時的な思い付きではなく継続的にトイレ清掃を実践することで自分も周囲の人も感動を共有することが出来ると思います。なぜ倫理法人会でトイレ掃除なのかわかり見えてきた気がしました。昔からトイレ掃除をすると綺麗になるとかお金持ちに成るとか良く耳にしますが、納得できる謬だと目から鱗の落ちる思いでした。これから会社に於いても率先してトイレ清掃をすることで自分自身を変えて参りたいと思う次第です。

幹部研修「孝のすすめ」

東洋化学株式会社 岡 幸一

「孝のすすめ」を聞いて感じたことを書きます。まずこの世に自分という人間がいるのはやはり両親がいたからだということを、改めて思い直しました。また、自分の周りには私を支えてくれる多くの人がいますし、多くの自然に囲まれて生かされているのだと思いました。私は子供の頃はとても我がままでも手のつけられない子供でした。そのことは私の母が「幸一(私)は子供の頃は本当にやりにくい子だった」という話をよく私の妻にしていることから伺えます。父は喰わんがため自分で仕事を始めたと言っております。母はその仕事を手伝い、家事をし、創業した頃は家計を支えるため夜中に内職仕事までしていたことを今でも覚えています。両親が苦勞して大きくしてきた会社に入社するかどうか迷ったあげく、会社を引き継ぐ決心をして入社しました。これが最大の親孝行だと思ったからです。いろんな人に支えられ今は社長にはなりましたが、経営者にはまだなれていません。これからは経営者になるように努力して、お世話になった人へのお返しをしていきたいと思っています。